

高所作業車

特定自主検査記録表

3 年 間 保 存

証 明 書
発 行 日

1 年 7 月 23 日

様式SR-HL-01-F

建設業に係る特定特殊自動車排出ガスの排出
の抑制を図るための指針に基づく検査共用証 明 書
発 行 No.

7-139

標 章
No.

1092164

メーカー名	アッポライト	管理 No.	T0-008	使用者住所 氏名又は名称	中城村字久場1991番地 町田機工株式会社
型 式	X32N	走行距離	— km	機械管理者氏名	町田 宗才
製 造 番 号	50734	稼働時間	173 h	検査業者登録番号	第 1 7 号
性 能 (作業床高さ)	9.7 m	車 検 有効期間	— 年 — 月 — 日	検査業者又は事業者 住所・名称	沖縄市登川3458番地 マチダテクノ(株)
検査実施場所	マチダテクノ 弊社内	検査者氏名	平川 英仁	責任者	又吉 悟
検査年月日	令和元年 7 月 23 日				

区分	No.	検 査 簡 所	検 査 内 容	検 査 方 法	検査結果 良 不良	補 修 内 容
エンジン(D/ディーゼルG/ガソリン)	1	本 体	★ a 始動性 かかり具合、異音、予熱栓・ヒーターの作動	目視、操作、聴診		
			★ b 回転の状態 アクセルの作動、回転具合	目視、操作、聴診		
			★ c 排気の状態 アイドリング回転(min ⁻¹)、無負荷最高回転(min ⁻¹)	回転計		
			★ d エアクリナー ケースのき裂・変形・緩み、エレメントの汚れ・損傷、油量	目視、操作、聴診		
			★ e 締付け シリンドーヘッド、マニホールド締付けボルト・ナットの緩み	トルクレンチ		
			★ f 弁すき間 弁すき間(吸最大 mm・最小 mm)(排最大 mm・最小 mm)	シクネスゲージ		
			★ g 圧縮圧力 圧縮圧力 (MPa)	圧縮圧力計		
			★ h 噴射圧力 噴射圧力 (MPa)	ノズルテスター		
			★ i 噴霧状態 噴霧状態 良○・不良×	目視、ノズルテスター		
			★ j 過給器 異常振動、異音、ガス漏れ、潤滑油漏れ	目視、聴診		
			★ k エンジンマウント ブラケットのき裂・変形、緩み・脱落、防振ゴムの損傷・劣化	目視、レンチ等		

区分	No.	検 査 簡 所	検 査 内 容	検 査 方 法	検査結果 良 不良	補 修 内 容	区分	No.	検 査 簡 所	検 査 内 容	検 査 方 法	検査結果 良 不良	補 修 内 容
エンジン(D/ディーゼルG/ガソリン)	2	★ 潤滑装置	油量、汚れ、油漏れ、 *エレメントの汚れ・損傷	目 視			下部走行体 (ホイール)	21	ホイール (タイヤ)	空気圧、き裂、損傷、偏摩耗、 溝深さ、異物、取付、リム等の き裂・損傷・変形、ベアリング 部のがた・異音・異常発熱	目 視 聴 診 探 傷 器	✓	
	3	★ 燃料装置	燃料漏れ、ホースの損傷・老化、 *エレメントの汚れ・詰まり	目 視 テスター				22	減 速 機 (チェーン 式を含む)	異音、異常発熱、油量・汚れ、 油漏れ、摩耗	目 視 聴 診 探 傷 器	✓	
	4	高 圧 ガス 噴射装置/G	ガス漏れ、導管等のき裂・損傷、 ボンプ・クランプの取付、 損傷	目 視				23	ロ ッ ド、 アーム類	き裂・損傷・曲がり、ダストブ ーツのき裂・損傷、連結部がた・ 摩耗、取付	目 視 探 傷 器	✓	
	5	プロパイガス 還元装置/G	バルブ作動、バルブ・ 配管等の詰まり・損傷	目 視 操 作				24	ナ ッ ク ル	連結部がた、すき間、き裂	目 視	✓	
	6	★ 冷却装置	水量・汚れ、水漏れ、目詰まり、ホース 損傷・老化、ラジエーターキャップ 機能・損傷、ベルト(たわみ、摩耗、 損傷)、ファン・カバー・ダクト等のき裂・ 損傷・変形・取付	目 視 触 診 スケール レンチ等				25	か じ と り 車 輪	ステアリング角度、スワッシャー ボルト取付、接触	目 視	✓	
	7	点火装置/G	ディストリビューターキャップき裂、コード はめ合い、端子摩擦・焼損、プレー カー等の接触面焼損・突起、電極・ 碍子の汚れ・焼損・破損、Trユニット 取付・損傷・端子緩み、点火時期	目 視 タイミング ライト				26	走行ブレーキ	効き (制動距離 m)	操 作	✓	
	8	★ 電気装置	充電装置機能、バッテリー液量・ 端子緩み・腐食、配線緩み・損傷	目 視 触 診 テスター				27	駐車ブレーキ	効き	目 視	✓	
	9	エアコンプ レッサー/D	異音、異常振動、エア漏れ、 油漏れ、タンク凝水、作動	目 視 操 作 聴 診				28	車 体	き裂、変形、取付	目 視	✓	
							下部走行体 (クローラ)	29	ビーム、 ロ ッ ク	伸縮、き裂、変形、ロック制動	目 視 操 作	—	—
電動機(直流)	11	電 動 機 体	振動、異音、ブラシ摩耗・ 当り、コンミテーター汚れ・ 摩耗、取付	目 視 聴 診 スケール	✓			31	起 動 輪、 遊 動 輪	き裂、変形、摩耗、異音、 異常発熱、取付、油漏れ	目 視 聴 診 探 傷 器		
	12	駆 動 用 ベ ル ト	たわみ、ベルト損傷・摩耗、 カバーき裂・損傷・変形	目 視 スケール	—	—		32	上部ローラー、 下部ローラー	き裂、変形、摩耗、異音、 異常発熱、取付、油漏れ	目 視 聴 診 探 傷 器		
	13	コンタクター	機能、接点損傷・摩耗	目 視 操 作	✓			33	履 帯	シューき裂・変形・摩耗、 ボルト・ナット取付、リンク・ プシュのき裂・摩耗、ピッチ 長、たわみ、ピン抜け出し	目 視 スケール		
	14	保 護 装 置	ブレーカー等の作動	操 作	—	—		34	ゴ ム 履 帯	スチールコード切断・損傷、 ゴムの欠け・老化・摩耗、 心金脱落、張り	目 視 スケール		
	15	制 御 盤	機器損傷、ヒューズ容量・取付	目 視	✓			35	履 帯 調 整 装 置	作動、調整ボルト等のき裂、 変形、腐食、摩耗、油漏れ	目 視 操 作 探 傷 器		
	16	バ ッ テ リー	液量、比重、端子の緩み・損 傷・腐食、容器損傷・液漏れ	目 視 比重計	✓	—		36	走 行 減 速 機	異音、異常発熱、油量・汚れ、 油漏れ	目 視 聴 診 探 傷 器		
	17	充 電 装 置	機能、異音、異常発熱、 ブレーカー作動	操 作 聴 診 触 診	✓			37	走行ブレーキ	効き	操 作		
	18	配 線	接続部緩み、損傷	目 視	✓			38	駐車ブレーキ	効き	目 視		
	20	フロントアクスル、 リヤアクスル	き裂、損傷、変形、 ピン結合部損傷・がた	目 視 探 傷 器	—	—	作業装置 ブーム	41	ブ ー ム (ラダー)	曲がり(全体、個別)、ねじ れ、ラップ部へこみ、側面板の うねり、打こん、局部へこみ、 パッド部のがた・*摩耗、溶接 部き裂・損傷	目 視 スケール 探 傷 器	—	—

3 年 間 保 存

★ ★	一酸化炭素等発散防止装置	触媒等の緩み・損傷、排気温度警告装置の配線緩み・損傷、排ガス減少装置のホース・パイプの緩み・損傷	目視、聴診、レンチ等	—	—	—
--------	--------------	--	------------	---	---	---

次回特定自主検査実施年月 2020 年 7 月

備 考	1. 下部走行体（トラック）は様式SR-KL-01、02を使用すること。 2. 事業者への要請および補修措置は様式SR-ZC-03等を使用すること。 3. 検査の結果、異常のないものは、検査結果欄の良に、また異常なもの不良の欄に「✓」印の記号を記載する。 4. 検査結果が異常なものについては、検査内容、検査方法欄の該当項目を○で囲む。 5. 検査内容の項目に＊印が付けられた項目は、関連機能が正常であれば検査を省略できる。省略した場合は＊印を○で囲む。 6. 検査の結果、補修等を行った場合は、補修内容欄に右の記号に従って記載する。また補修内容等の詳細説明を要するものについては、補修等の措置内容欄に記載する。 7. Noの網掛け項目は、定期自主検査指針の公表後において新たに装備されたものであり、追加検査項目とした。 8. 道路運送車両法（昭和26年法律第185号）の適用を受ける高所作業車であって、同法第48条第1項に基づく定期点検基準に定める点検と同等以上の点検を作業装置以外の部分について実施し、その点検を行ったことが記録によって確認されるものについては、当該部分に係わる自主検査を省略して差し支えない。 9. ★及び★印は、安衛法上及び建設業に係る特定特殊自動車排出ガスの排出の抑制を図るための指針に基づき決められている検査項目であるが、そのうち★★印は同指針にのみ基づく検査項目である。	記 号	交	分	修	調	締	清	給	該 当 な し
			換	解 交 換	理	整	付	掃	油 水	
			×	⊗	△	A	T	C	L	—

事業者への要請等及び補修措置

3 年 間 保 存

定期(特定)自主検査記録表

書目明證

1 年 7 月 23 日

定期自主
標章N-

證明書
發行No.

7-139

特自檢
標章No

1092164

事業者への要請等

充電前はバツリ-液量を確認して下さい。

補 修 等 の 措 置 内 容

[illegible]